

OFD2024 報告書

作成者：MORE 企画 白井ゆみ

作成日：2024/11/15

1. イベントの概要

タイトル	Ocean Friendly Divers 2024 @伊豆
実施目的	<ul style="list-style-type: none">・すでに環境問題に興味関心を持つスキューバダイバーへの、更なる知識向上と意識向上を促す・異なる地域で環境活動をしている方々の存在を、互いに認識して同じ志を持って活動しているひとたちとの繋がりを強化すること・環境に配慮した地域であることが、発信されることで環境の良さをPRすることでの、今帰仁や沖縄全体の観光・環境改善の促進

2. イベントの詳細

内容	Ocean Friendly Divers 運営事務局による、海と山の体験学習プログラムを開催。伊豆市と沼津市を会場として、2日間の体験学習とダイビングを実施しプログラム全体を通して環境問題について学習した。参加したダイビングショップは5店で、いずれも1名~4名のゲストを連れて参加した。 1日目：山のゴミ拾い、ランチ、体験学習、潜水土ーク 2日目：水中清掃、ゴミの分別、記念撮影
ターゲット	環境問題に興味関心があるスキューバダイバー（ライセンス保持者限定）
期間	2024年 11月 2日（土） 11月 3日（日） 2日間
場所	静岡県伊豆市（原保公民館）、静岡県沼津市（平沢マリセンター、内浦漁港）
周知方法	<ul style="list-style-type: none">・Instagram、facebookの有料広告、ダイビングサービスでのポスター掲載・ゲスト集客は、各ダイビングショップで実施
申し込み期間	一次募集：2024/06/01~2024/07/31 二次募集：2024/09/01~2024/09/30
申し込みからの流れ	<ol style="list-style-type: none">① ダイビングショップからの資料請求② 説明の上、お申し込み（ダイビングショップ単位、人数は無料で変更可）③ 8月、9月、10月にダイビングショップと連携（参加人数、体験希望、質問受付）④ 事前説明会の実施（予定していたが日程調整に苦戦、希望されず、実施せず）
参加団体	MORE 企画 ：運営事務局（主催） 坪根雄大 ：フォト&ビデオグラファー サンライズダイビング （5名） Diving shop K'z MARINE （2名） ダイビングプロショップ SEA HEAT（シーヒート） （4名） EDIVER'S（いーだいばーず） （4名）
参加人数	ゲスト：11名、インストラクター：7名、ボランティアスタッフ：9名、カメラマン：1名 出張ヨガ講師：1名、ランチ提供者：1名、わさび狩り体験提供者：2名、卓話者：1名 ダイビングセンタースタッフ：1名、2日目出店者：11名

協賛 協力者	<p>■協賛■</p> <p>東京セントラルパークロータリークラブ、沼津ふなと干物、修善寺サイダー、だるま整体院、瑞の里〇久、燕舎、あまご茶屋、(有)水口、杉山水産すぎ屋、三石製作所、杉山水産すぎ屋、焼き肉釜山、おむすび cafe、木の器点、はちみつ花の道、こめや、肉の谷口、Crank Pizza、ジオカフェガイア、abf-labo、海女屋、パンのおはな、三角屋商店、MORINO 酒店、小林商店、ぽんゆラーメン、修善寺の洋食屋さん、紅谷、小早川魚店、松根八百屋、奈紬太、山田スポーツ整体院、その他個人</p> <p>■協力■</p> <p>平成森鮮組、平沢マリンセンター、オーシャナ、PADI、沼津市、内浦漁港、大見川を清掃するボランティアの会、キヌガワ (GULL)</p>
出店 依頼	<p>1 日目：ゆだねる YOGA (ケイ先生)、ハナのつむじ (ランチ)、わさび狩り、山下さんお話し会</p> <p>2 日目：SHAKA. coffee、フレックルクッキーズ、カサラナ、沼津カレー、だるま整体、KINUGAWA</p>
傷害保険	あいおいニッセイ同和損害保険 (11/2・3 両日全員)

4. 寄付合計

事前寄付	112,000 円 (協賛金)
当日寄付	17,500 円 (協賛品の販売、寄付 BOX など)

5. 収支報告

収入	協賛・寄付	129,500 円
	参加費・体験費	105,000 円
合計		234,500 円

支出	広告宣伝費	45,000 円
	会場備品	30,000 円
	体験費・ランチ	74,500 円
	会場費	20,000 円
	傷害保険(全員分)	2,000 円
	業務委託費 (ヨガ・写真)	157,500 円
	その他経費	100,000 円
合計		429,000 円

※19万 4,500 円の赤字分は、助成金で補う予定。

6. 実施実績

	2024 年 11 月 2 日
参加者	17 名
場所	沼津市 内浦漁港 湾内
回収ゴミの量	150 kg
内訳	ブイ、ロープ、釣り具、パイプ、ワイヤー、布切れ、プラスチック破片、エギ、長靴、バケツ、瓶、缶、ペットボトル、洗剤容器、網

7.実施の様子と内容

■1日目（11月2日）

ゲスト 11 名、インストラクター5 名、ボランティアスタッフ 9 名、カメラマン 1 名
出張ヨガ講師 1 名、ランチ提供者 1 名、わさび狩り体験提供者 2 名、卓話者 1 名

受付	時間	09:00～09:30
	内容	受付、名札配り、グループ分け、体験内容決定 
午前の部	時間	09:30-11:45
	内容	OFD と MORE 企画の紹介、個人ワーク、○×ゲーム、潜水士の卓話
	詳細	<p>■09:30～10:00 開会のあいさつとスタッフ紹介</p>  <p>■10:00～10:30 個人ワーク【考えてみよう！昔はどうだったかな？】 20 個の質問に対して、昔はどうだったかを考えてみる。現代に取り入れられる物がないか隣近所で話し合いをしてみる。例：豆腐の買い方、冷蔵庫の代わり、鍋の素材は？</p>  <p>■10:30～11:00 元潜水士の卓話</p> 

	<p>■11:15～11:30 ○×ゲーム</p> <p>5問×2回戦、景品はエコたわしとみつろうラップ</p>  <p>※エコたわしは、洗剤もアクリルスポンジも不要の食器洗い ※みつろうラップは、サランラップがいらす繰り返し使える</p>
--	---

交流会	時間	11:30-13:00
	内容	河津の「ハナのつむじ」さんのケータリングランチ
	詳細	<p>身体に優しく、自然に優しい食事を提供しているハナのつむじさんへ、ケータリングをお願いした。食器は、洗えるお皿やコップを用意。コーヒー、お菓子もオーガニック。</p>  <p>※カトラリーは PADI からの協賛品（材料に珈琲カスを混ぜてあるセット） ※協賛の修善寺サイダーも 1本 400円（全額寄付）で販売</p>

体験	時間	13:00～14:15
	内容	わさび狩り体験、水神社横のわさび沢
	詳細	<p>伊豆を代表する特産物の本わさび。綺麗な水と豊かな山でしか育ちません。</p>  <p>※お土産に自分で掘ったわさびをお持ち帰り。</p>

午後の部	時間	14:15～16:30
	内容	グループワーク、ヨガ、動画鑑賞、ゲーム
	詳細	<p>■14:45～15:00 ダイバーとしての環境へのアクション・グループワーク 普段どのようなことに取り組んでいるか、これからどのようなことに取り組みたいか。</p>   <p>■14:45～15:30 ヨガ ヨガ講師を呼んで、ダイバーとしての呼吸の練習。スタッフも混ざる。</p>   <p>■15:30～15:45 動画鑑賞</p>   <p>■16:00～16:30 ジェスチャーゲーム 環境に関する言葉を体現して、覚えよう（事前に LINE へ単語集を送信済）</p>  

<1日目その他の紹介>

パンフレットコーナー。色々な団体や企業を紹介。



ドリンクコーナー。ペットボトル飲料は禁止にして、こちらでお茶やお水をご用意（もちろん NO 紙コップ）



会場の外観、受付、全体写真、名札（来年も使えるように、年月日は入れない仕様）



■2日目 (11月3日)

ゲスト 11名、インストラクター7名、ボランティアスタッフ8名、カメラマン1名

ダイビングセンタースタッフ1名、出店者 11名

午前の部	時間	09:00~12:0
	内容	内浦漁港にて水中清掃の実施
	詳細	<p>■09:00~09:30 受付 (水中ゴミ拾いバッグなどの貸し出し)</p> <p>■09:30~10:00 ブリーフィング (全体・各ショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方通行で進むこと (追い越しOK、混ざらないように注意) ・中性浮力必須 (ガンガゼ、ヘドロ)  <p>■10:00~11:30 ショップ毎にエントリー、エキジット</p> 

■11:30~12:00 片付け、記念撮影、ビーチへ移動



午後の部

時間

12:00-14:30

内容

ランチ、ビーチダイビング、休憩等自由時間

詳細



■14:30～15:00 全体集合写真、感想、ステッカー配布



■後日 (11月5日)

回収	時間	13:30～13:45
	回収者	沼津市水産海浜課工務係
	内容	内浦漁港に集めたゴミを回収
	詳細	事務局立ち合いの元、ゴミの回収を実施。推定 300 kg



8.企画～当日まで、全体スケジュールと段取り

プレ MTG	2024/5/6	大まかな企画内容の共有と目的、実現したいことなどを話し合い。 各自のタスクを洗い出して、キックオフを待たずに進める（全体のスケジュール決め、広告配信の手順と時期の検討、キッチンカー等への声掛け、ボランティアスタッフへの声掛け、傷害保険の検討、マネタイズ方法等）
	2024/5/7	・ダイビングショップへ展開する資料の内容検討
	2024/5/8	・説明資料の内容、会場、全体スケジュールの共有 ・ダイビングショップ側の集客方法提案有無、本番までの情報提供の段取り ・山の体験内容、海の会場検討、キッチンカーの電気、火気の使用について確認
	2024/5/9	・予算、スケジュール決め
	2024/5/13	・マインドセット、スケジュール共有、担当割り振り、予算共有 ・傷害保険決め、ショップ→ゲストへの提案資料作成の有無 ・資料の大枠お披露目、ロゴ制作（イメージカラー、内容、目的） ・よくある質問と答えの内容追記 ・呼び名の検討「イベント」「プログラム」「キャンプ」「研修」「教室」「体験」
キック オフ MTG	2024/5/27	・メーリス作成、雨天の場合の内容検討 ・ポスター印刷をするか否か、またその枚数と配布方法 ・ロゴやHPのイメージカラーの検討、SNS広告の準備と画像、動画作成 ・初日のランチをどこに依頼するか（予算、内容、食器）
MTG	2024/6/17	・資料請求、申し込み状況、ポスター配布状況確認、ロゴ進捗確認 ・雨天時の中止判断基準、その際の内容コンテンツ決定 ・キッチンカーへの声掛け状況確認
	2024/7/6	・資料請求・申し込み状況、ポスター配布状況確認 ・食事の内容や場所の検討、広報状況とアナリティクス確認
	2024/8/28	・ここまでの申し込み者確認、ショップへの人数問い合わせ ・出店者情報の共有と詳細決め、体験内容の共有と状況報告 ・ごみ処理の方法検討（漁港許可、沼津市への交渉と書類提出） ・参加ショップへの事前説明会参加可否と体験内容問い合わせ ・各種フォーム作成（参加者情報、アンケートなど） ・ダイビングの流れ確認（自由？港のみ？ビーチと1本ずつ？移動は？）
	2024/10/6	・各種資料作成（全体マニュアル、ゲスト配布用資料、スタッフ資料） ・一日の流れとボランティアスタッフの配置決め ・各所への支払いの流れや保険加入内容について検討、相談
	2024/10/7	・ごみ処理について沼津市と相談（場所詳細、写真、手順、時間、許可書の提出） ・11月5日に回収決定（それまで港に一時保管。許可取り必須） ・ダイビングショップとゲストへの案内資料の作成進捗チェック ・ダイビングへの情報提供追いか、資料への転記、講師への人数案内
	2024/11/1	・前日準備（荷物の準備、会場の申し込みと鍵の受け渡し、荷物運び込み） ・2日間の流れのMTG（全ボランティアスタッフ） ・出店者、登壇者、講師の皆さんへ挨拶連絡、スクリプトや学習資料の最終確認
本番	2024/11/2・3	当日
事後	2024/11/5	沼津市のゴミ収集の方々と共に、内浦漁港からのゴミの撤去立ち合い

9. 参加者アンケート（回答人数：13人）

1日目

	5点	4点	3点	2点	1点
総合評価	4 (30%)	7 (55%)	2 (15%)		
山の清掃タイム	-	-	-	-	-
ランチタイム	7 (55%)	3 (23%)	2 (15%)	1 (7%)	
学習タイム	6 (48%)	3 (23%)	1 (7%)	2 (15%)	1 (7%)
元潜水士の話	5 (40%)	3 (23%)	2 (15%)	2 (15%)	1 (7%)
体験タイム	5 (39%)	3 (22%)	5 (39%)		

良かった点・有意義だと感じた点	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ環境について改めて考えることが出来た（グループワークやゲームで楽しく学べた） ・わさび狩りとヨガが楽しかった（伊豆ならではのわさび狩り体験が出来た） ・参加者たちで話し合いができ、様々な意見や考え方が聞けた ・組み分けされていて、違うSHOPの方たちとコミュニケーションが取れた ・ゴミ拾いへの意識を持てた内容だった ・山下さんの話も大変興味深かった ・今までに触れたことのない内容にも触れ、意識を改めて地球に向けることが出来た
悪かった点・改善が必要だと感じた点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク内容と方法が良くなかった（スタート時の参加者負荷が大きいと感じた） ・ショップ単位でのグループでも良かった ・スケジュール的にフリー参加の時間は最後にして、解散を早くして欲しかった。 ・伊豆観光もしたかった（観光の時間が欲しかったので半日ぐらいがちょうど良い） ・座学は活動の紹介くらいで勉強やグループワークは無くてもよかった ・荷造りや段取りの関係で雨天の場合どうなるかあらかじめ教えて欲しかった

2日目

	5点	4点	3点	2点	1点
ビーチ水中清掃	6 (49%)	1 (7%)	4 (30%)	1 (7%)	1 (7%)
湾内水中清掃	5 (39%)	5 (39%)	2 (15%)		1 (7%)
キッチンカー等	3 (24%)	5 (39%)	4 (30%)	1 (7%)	

良かった点・有意義だと感じた点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活ゴミが結構放置されている現状や、辺鄙な場所でなく身近な場所に不法投棄が有る現実に驚きを感じ、もっとコンプライアンス意識を高める活動をするべきだと感じた ・実際にゴミ拾いの活動を体験できたこと ・想像していたよりゴミが多く、もっと拾っていたいと感じた ・普段は立ち入る事ができない、湾内の清掃や実際に潜水して見る事ができた点 ・ゴミ拾いのメッシュバックなどのレンタルが豊富にあったので助かった
悪かった点・改善が必要だと感じた点	<ul style="list-style-type: none"> ・記念撮影がいらなかった ・潜水場所や環境について前日や当日でなく、もう少し早めに情報が欲しかった ・観光の時間が取れなかったので、お昼までに2本終わるくらいのペースだと良かった ・キッチンカーにアルコールの出店があれば嬉しい ・段取りなど細かめの設定と事前説明があるとスムーズかと思った ・スケジュールカツカツ過ぎてランチ食べる暇があまり無かった

10.運営・ボランティアスタッフアンケート

1日目

<p>良かった点・有意義だと感じた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨バージョンもしっかり考えてあった（臨機応変にプログラムの変更） ・ フレキシブルに予定を組み替えた（わさびの実施有無、途中離脱の方など） ・ イベント後のゴミが少ない。そして、しっかり片付け出来ていた ・ 手を上げての〇Xクイズは皆さん楽しく盛り上がった ・ ヨガを予定に入れたのは良かった ・ 多すぎず、構えずに参加者さんが話しやすい人数と空気だった ・ 雰囲気明るくて良かった ・ 環境クイズは普段考えないことに頭を使えてとてもすっきりしたし、学びになった ・ 食事がとっても美味しかった
<p>悪かった点・改善が必要だと感じた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し早めに終了しても良かった（運動量は多くなかったけど、移動疲れもあったのか最後はみんなお疲れ気味だった） ・ お昼休みに見られるもの（ゴミの不法投棄現場の写真、ポスター類、手に取れる展示等） ・ 雨でゴミの回収はできなくても車で案内できたら良かった（雨天プログラムの検討） ・ スタッフがグループワーク等でサポートできなかった（初める前に役割り分担の再確認） ・ 盛り沢山な内容だったので、プログラムの間に休憩時間がもう少し欲しかった ・ 受付時の動線確認はもっと詳細にしたほうが良かった ・ 質疑応答でなくフリートキングの場をもう少し長くした方が良い ・ 体を動かすプログラムを午前中からもう少し組み込めるとよかった ・ 当日のボランティアスタッフの皆さん含め詳細を前日 mtg で共有できるとよかった ・ MORE 企画で普段発信している水中ゴミ回収の際の注意点なども入れれば良かった

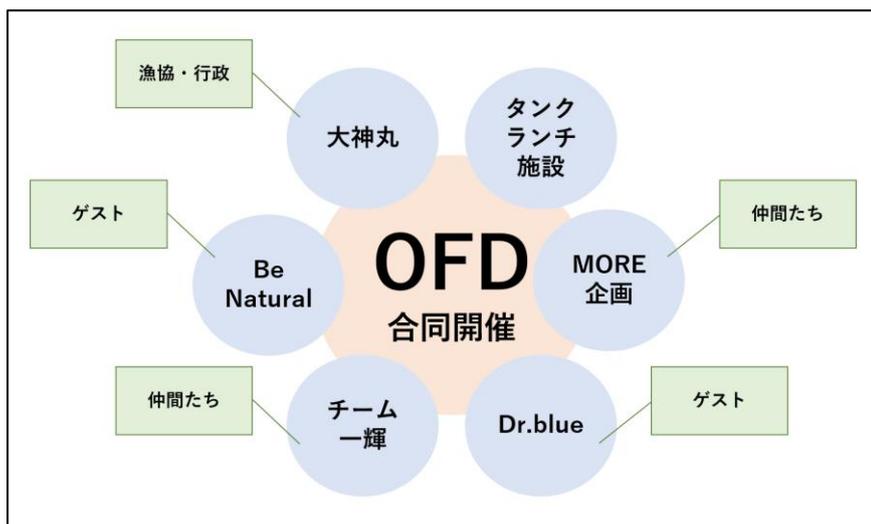
2日目

<p>良かった点・有意義だと感じた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの参加者さん達が散らばってセッティングや機材洗いをするなか、開始と終了をしっかりとめられたと思う。特にシメは2本目のダイビングが各チーム全然違う時間なのにしっかり出来たのは本当に良かった（ただ今後参加ショップ数が増えると難しい） ・ しっかり事前設営できた。忘れ物あったりしたが、協力しながらできて良かった ・ 終了後の持ち帰りゴミの少なさに驚いた。コレが本物のエコイベントだなと感心 ・ 海の中のゴミ拾いはダイバーでなければ出来ない作業、協力してくれた漁協さん、海からあげたゴミなどを処理してくれた業者さんに感謝
<p>悪かった点・改善が必要だと感じた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食器の回収場所、お皿の置き場所などは会場によって異なるので細かく事前確認必須 ・ 生ゴミや食べ残しとか、タルタルソース、ケチャップたっぷり残った皿をそのまま洗うのは厳しいので流しのそばにゴミ袋が必要（水でカレー皿は洗にくい、タライにお湯入れて予洗いしたい。次はタライとミニバーナーも持ち込みたい） ・ 出店者に関して、1日目の終わりにでも出店情報をアナウンスした方が良かった ・ 2日目はフリースタイルでのダイビング（ショップ毎にサービスへ申し込んでもらう）だったが、情報が伝わり切っていなかった。

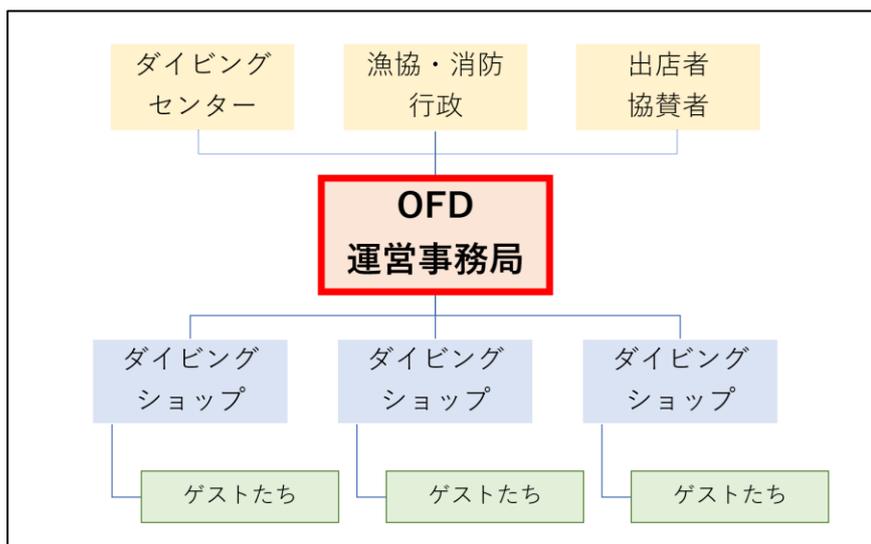
11. 次回に向けて

1回目（アットホーム）と2回目（システムチック）でスタイルをガラリと変えたので、どちらが私たちの目的にあったスタイルかはまだ不明。3回目の開催では、間を取ったスタイルにしていけたら良いと思う。情報の伝達が上手いかず、ショップさんたちからの質問はオープンにしていたが「何を質問して良いかわからない」という状態だったと想定する。また、運営からショップへの情報共有が上手く機能していなかったため、その先のゲストへの情報は更に薄くなってしまったように思う。その結果、期待値に対しての満足度やコストパフォーマンス・タイムパフォーマンス共に、希望と見合っていなかったと感じさせてしまったかもしれない。今回は、スケジュールが合わず開催できなかったがやはり事前顔合わせ（イントラのみ）は必須だった。運営の在り方としても、コストパフォーマンスが非常に悪いため、マネタイズの見直しが必要である。（期待値との兼ね合いで、次回は参加費はオープンにする）

■1回目■



■2回目（今回）■



12.メディア掲載

日付	メディア名	タイトル	URL